

内閣参甲第一三〇号

昭和二十三年六月十一日

内閣總理大臣 芦田均

参議院議長 松平恒雄殿

参議院議員岡村文四郎君提出農家經濟に關する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員岡村文四郎君提出農家経済に関する質問に対する答弁書

(二) 錢状價格差対策に関する研究経過の概要

(1) 錢状價格差対策に関する研究は農林行政上頗る重要な問題であるが、現在、農家経済乃至農村物價の動向として夫々関係部局において検討しており、錢状價格差対策そのものの研究は統一的には行われていない。近く行政機構の改革に伴つて、これらの研究を総括する部局が設けられることになつてゐる。

(2) パリティー計算は、一應理論的には錢状價格差を解消する方式ではあるが、これについて最近検討したところによると次の如くである。

パリティー計算の採用によつても米價は固定せられてゐるに対し、パリティー計算の基礎となつた各物資の價格及びウエートが変化することから生ずる時間的ヅレが存在し、錢状價格差は進行する。例へば二二年産米のパリティー指数六一・五五は五月一日現在で七〇・四二に上昇してゐる。

闇價格の面の鉢状價格差についても、最近食糧事情好轉し農産物の闇價格のインフレによる騰勢は次第に鈍化しつつあり、これに対しても、衣料品その他工業生産物即ち農家購入品の價格は供給量が増加せず、これに対する需要は食糧事情の緩和しただけ増加し、その闇價格は農産物のそれに比し、相対的に騰貴率が大となつてゐる。日銀調査の闇價格指数によれば終戦後と二二二年十一月及び二三年三月との比較は次の通りである。

年 月 日	主 食 品	織 維 品	日 用 品
二二二、一	一三七・一	四七五・四	三一六・四
二二二、三	三一三・九	五六六・九	三九九・二
二〇年九月—二一年八月の平均指數を	一〇〇とする		

全國農業会調査部の農村物價指數によつても、農林生産物、農業用資材、家計用品との三つの夫々の綜合指數によれば、家計用品最も騰貴率高く、農林生産物それに次ぎ農業用資材は農林生産物を下廻つてゐるが、これは綜合指數であつて、農業生産物中の米麦等主要食糧と農業用資材中の肥料、農機

具をとれば、その方が遙かに米麦等の價格騰貴を上廻つてゐる。

## (二) 最近における銕状價格差是正の具体策

(1) 二二年産米についてパリティ計算を採用したが、これはその時期における農家購入品の價格との均衡を考慮したもので銕状價格差の是正を意図したものである。

(2) 供出に関連して右のパリティー方式による米價を実施するにあたつて必要なことは、パリティ計算の裏づけを物資によつて行うことで、それは見返り品たる農機具、肥料の見返り物資の配給の円滑化であり、これについては鋭意努力し、例えば農機具中動力脱穀機(六五〇七七台)、穀摺機(四〇八一九台)、粹土器(六九一二八台)等の二三年上半期における需要申請に対しても配給見込量は夫々六九八台、四三七五一台、一一六九七〇台と上廻つてあり、肥料についても二三年一月から五月迄の配給計画窒素肥料七二二千噸、磷酸肥料三四二千噸に対し五月二十日現在夫々七一〇千噸、三六〇吨を肥料公園より出荷してゐる。

(3) 報償物資はパリティ公價を実効價格たらしめる有力な一方法であるが、政府はその完配に努めその重要なものの農家への配分状況は五月二十日現在で次の通りである。

計画量に対する遂行率

作業衣類	約	九九%
ゴム製靴類	"	一〇〇%
自轉車	"	一〇〇%
日用品類	"	八〇—九〇%
煙草	"	九二%

(4) 肥料については價格騰貴を抑制するため、補給金を支出している。

(5) 先般來実施中の農業手形制度もこの対策の一つである。